

**製品名: Zic1 (4R9) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe20103**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:50-1:100
分子量	48kDa

**抗原情報**

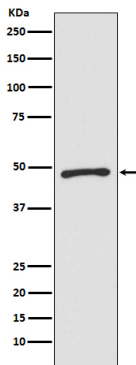
遺伝子名	ZIC1
別名	ZIC; Zic protein member 1; Zinc finger protein 201; Zinc finger protein ZIC1; ZNF201;
遺伝子 ID	7545.0
SwissProt ID	Q15915
免疫原	ヒト Zic1 の合成ペプチド

**背景**

転写活性化因子として作用します。神経新生に関与します。中枢神経系の器官形成の初期段階、ならびに背側脊髄の発達および小脳の成熟において重要な役割を果たします。橋灰白質核 (PGN) 内の苔状線維 (MF) ニューロンの空間分布に関与します。MF 軸索経路選択の調節において役割を果たします。同側に位置する小脳領域への MF の移動を促進します。転写活性化因子として作用します。神経新生に関与します。中枢神経系の器官形成の初期段階、ならびに背側脊髄の発達および小脳の成熟において重要な役割を果たします。橋灰白質核 (PGN) 内の苔状線維 (MF) ニューロンの空間分布に関与します。MF 軸索経路選択の調節において役割を果たします。同側小脳領域への MF の移動を促進する。骨細胞におけるせん断流動メカノトランスダクションに関与する可能性がある。核内の GLI1 および GLI3 は細胞質内に保持される。GLI コンセンサス配列の最小値 5'-TGGGTGGTC-3'に結合する (相同性による)。

## 研究分野

## 画像データ



SW480 細胞溶解物における Zic1 発現のウェスタン ブロット分析。